



# 横浜市立田奈小学校

## 学校だより

平成30年 2月1日

2月号

校長 二瓶 光代  
TEL 045-981-0009



みのたなくん

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/tana>

## 大雪から感じた温かさ

校長 二瓶 光代

1月22日、中休みの渡り廊下は子ども達で大賑わいでした。予報より早く雪が降り始めたからです。口をあけて降ってくる雪を受け止めようとしている子、それを見ている子たちは、渡り廊下から身を乗り出していました。歓声を上げ、小躍りしている姿も見えました。子ども達は、体全体でぼたん雪を満喫していました。職員一同「明朝は、雪かき」を確認し、出勤したらすぐ作業に取り掛かれるようシャベルも倉庫から出しておきました。学区の広い田奈小にとって登校時の安全確保は重要な問題です。

翌朝は、前日に撒いた融雪剤が全く意味をなさないほどの大雪になっていました。子ども達への心配が募ります。早めに出勤してきた職員と、すぐに雪かきを始めました。シャベルの音が早朝のまちに響きます。通学路のすぐ近くにお住まいの方が、一人二人と雪かきに出て来てくださいました。あたりはまだ薄暗く、離れているとどなたか分からない状態でしたが、よく見ると通学路から離れたところにお住いの方も来てくださいました。雪かきの様子を見にいらして、家に戻り、身支度を整えて手伝いに来てくれた方もいました。地域の方々のご協力で通学路の雪は徐々に取り除かれていきました。

雪かき作業のめどが立つと、自宅に戻り交通安全指導員の制服に着替えて再度来校し、子ども達の道路横断を見守って下さった地域の方もいます。8時前になると、西門前横断歩道の旗振りの保護者の方が配置についてくださいました。子ども達の姿が見えてきました。距離の長い通学路のいたるところで、たくさんの保護者の方や地域の方が雪かきや見



【雪と田奈小の紅梅】



【雪の田奈小】

守りをしてくださったことが、子ども達の表情から想像できました。手に雪玉を持ってニコニコしながら登校する子もいました。この日はたくさんの保護者の方が西門までついてきてくださり、手に大きなシャベルを持ち雪かきしながら送ってこられた方もいました。温かなご支援を受け、子ども達は無事に登校できました。

登校を見届けると、次は給食室の駐車場門に向かいました。そこでは、坂の上の方から雪かきをして来る方と出会いました。駐車場門まで来るとその方は、私たちの雪かきを手伝ってくださいました。雪をすっかり除くと最後にその方は、「これで給食の(材料を積んだ)車も入って来れるでしょう。と、にっこりしてご自宅に帰って行かれました。大雪から子ども達はたくさんの方の温かさをいただきました。保護者の皆様、地域の皆様、ありがとうございました。